

要請番号 (JL00618A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G238 料理		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

観光省

2) 配属機関名 (日本語)

バンドン観光高等専門学校

3) 任地 (西ジャワ州バンドン市) JICA事務所の所在地 (ジャカルタ首都特別州)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道+車で約4.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

観光省は観光産業に従事する人材を育成するための観光高等専門学校を国内4か所に有しており、配属先はそのうちの1校である。配属先には、観光、ホテル、旅行の3つの学科があり、その下にホテル管理、宿泊、飲食、調理、コンベンションビジネス、旅行ビジネス、観光地、観光ビジネスなどのプログラムがある。学生数は全体で約600名。学校の年間予算は約5億円。1996年以降、日本語教育と料理の青年海外協力隊(JV)合計11名のJICAボランティア派遣実績があり、記入日時点で、日本語教育JV(平成27年度3次隊)と料理JV(2016年度3次隊)が活動中。その他にも、アメリカやイギリスからのボランティア受入実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、1995年から2004年まで4名の青年海外協力隊(JV)が派遣され、観光・飲食産業での就職を目指す学生たちに日本料理に関する指導を行ってきた。JICAによる支援が一旦終了した後は、基本的に現地教師のみで日本料理の指導を行ってきたが(時折外部講師による授業も実施されている)、約10年が経過し、現地教師の技術や知識の更新が課題となっている。これに伴い、当時JVの協力によって作成された教材の見直し等も必要となっており、改めてJVの支援継続が必要として、要請が提出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚教師と協力し、下記の活動を通じて、学生と教師の技術・知識向上を支援することが期待されている。

1. 学生に対して、日本料理及び調理に関する指導。
2. 現地教師の実施する日本料理に関する理論、実習授業の支援。
3. 現在の日本料理に関する教材やカリキュラムの見直しや改訂の支援。
4. 可能な範囲でパンや洋菓子作りについての紹介、指導。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

調理実習用キッチン、基本的な調理用具一式、共用パソコン(IMAC)、インターネット、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

JVはフード・プロダクション・マネジメント課に配属予定。

- ・同僚6名 (男性3名、女性3名、40-50代、修士号保持者)
- ・フード・プロダクション専攻学生6クラス 約180名 (19-21歳)

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

インドネシア語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(調理師)

[学歴]：(専門学校卒) 備考：当国での受け入れに必要

[性別]：(男性) 備考：配属先のジェンダーバランス

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：実践的な内容の指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20~30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの問題により、他国の同隊次より赴任時期が遅れる。インドネシア政府の方針で、自衛隊勤務経験者及び海外における軍歴保持者にはボランティアとしての査証が発行されないため、応募不可。